

学術から日本の ID マネージメントをかえろ



V.S.



学認シンポジウム 2012

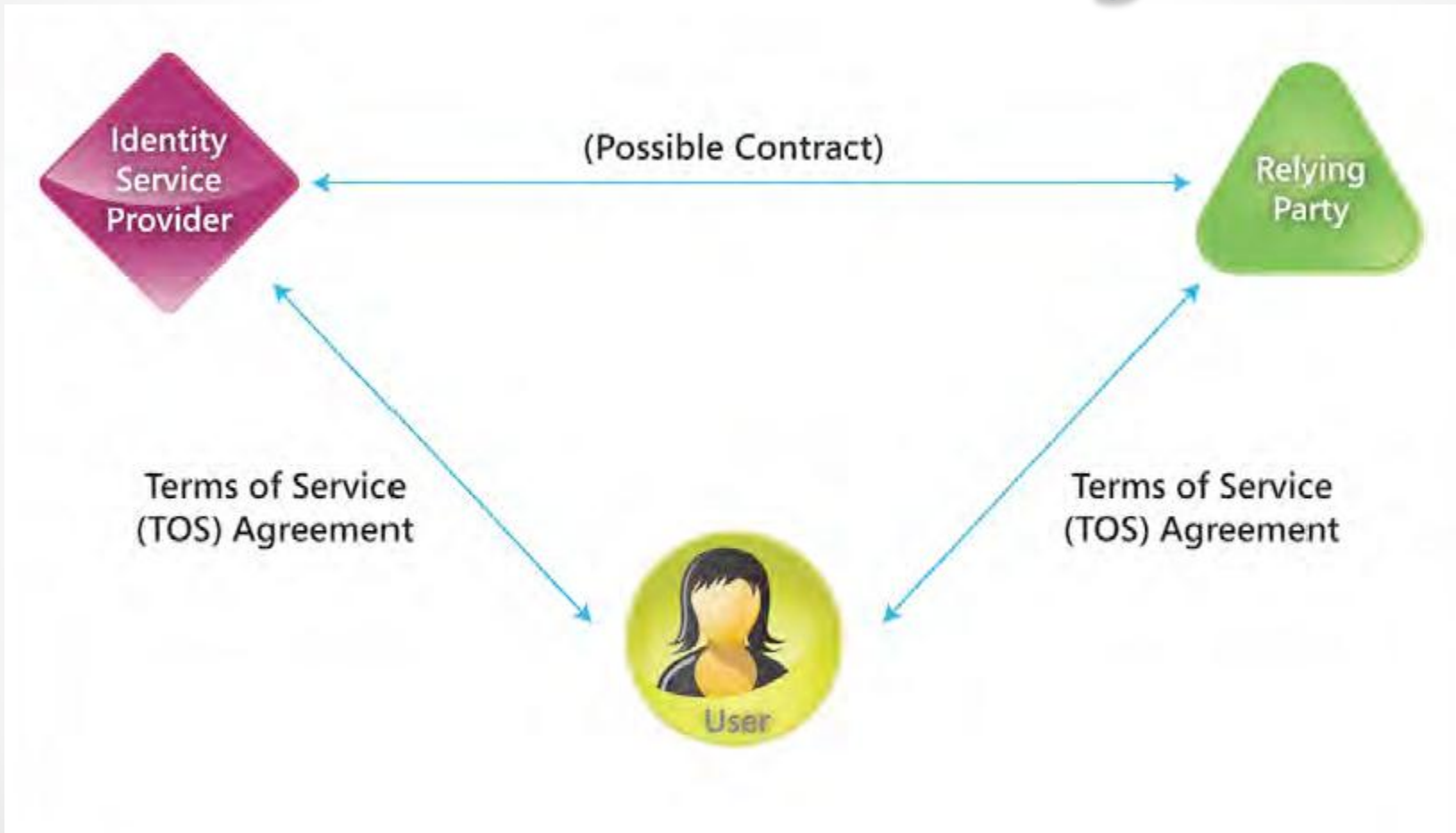
司会 島岡 政基 (セコムIS研究所)

パネリスト 崎村 夏彦 (OpenID Foundation)
佐藤 周行 (東京大学)
中村 素典 (国立情報学研究所)

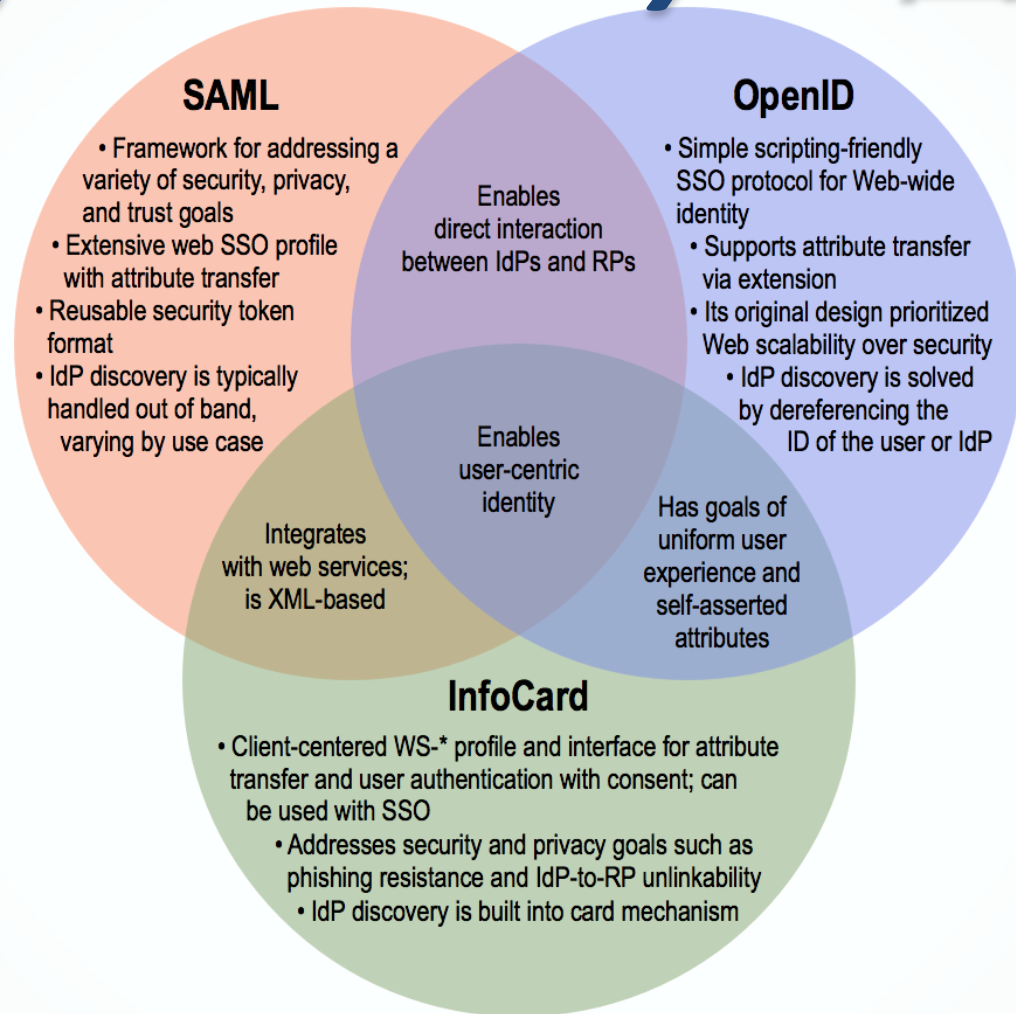
トピック

- Shibboleth/SAMLとOpenID
 - 歴史的変遷
 - 設計思想の違い
- フェデレーションとIDマネジメントの関係
 - 保証レベルにもとづくID連携
 - 保証レベルを担保するトラストフレームワーク
- これからのIDマネジメント
 - パネリストが語ってくれます!?

Traditional Triangle



Digital Identity 三国志



Legend

IdP Identity provider
RP Relying party
SSO Single sign-on

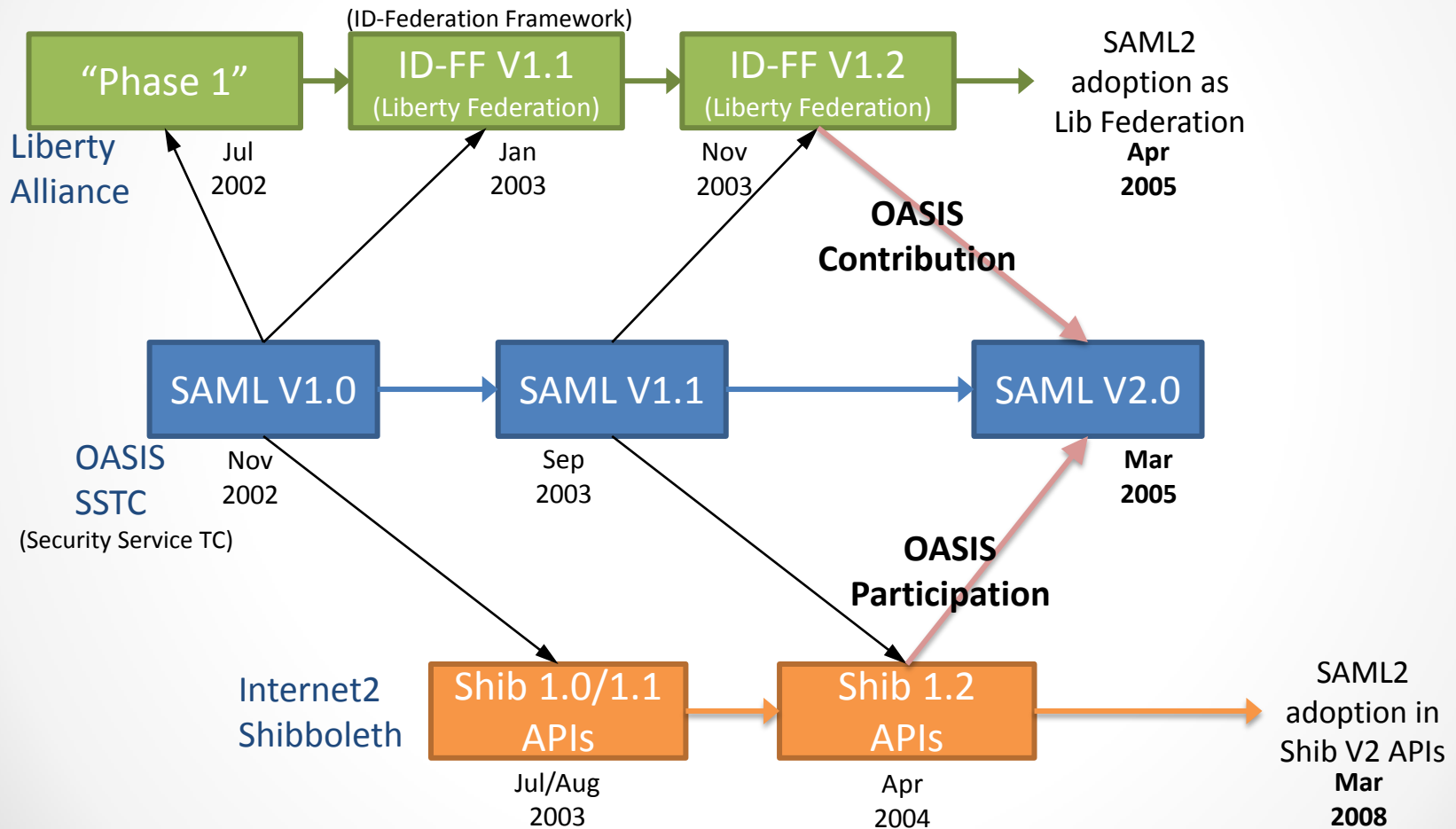
The Venn of Identity

September 2009

Eve Maler – VennOfIdentity.org

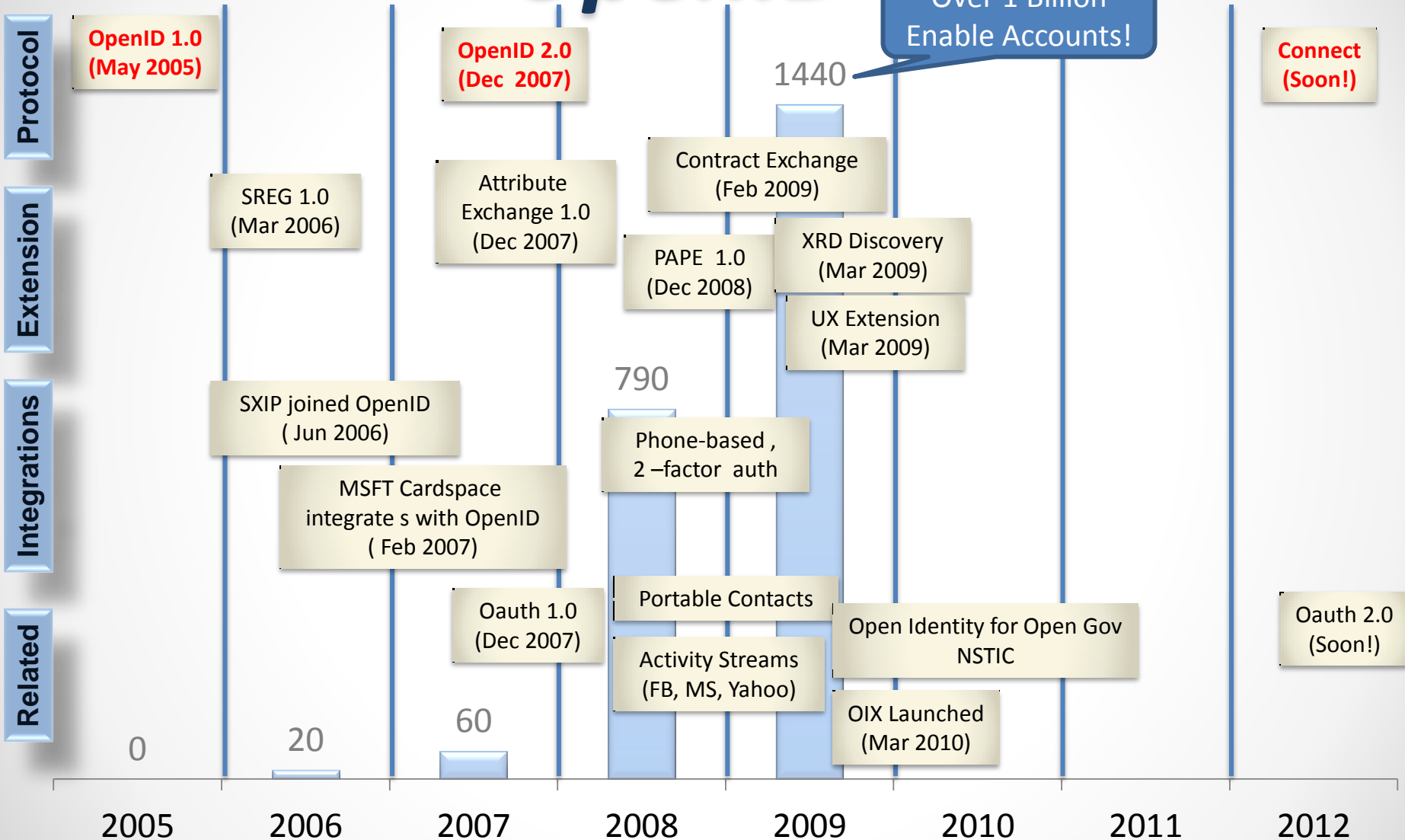
Acknowledgments: Gary Ellison,
Johannes Ernst, Paul Madsen,
Jeff Hodges, Ashish Jain, many others

SAML/Shibboleth



<http://www.xmlgrrl.com/publications/SAML-Liberty-IIWb-Dec2006.pdf> に加筆

OpenID



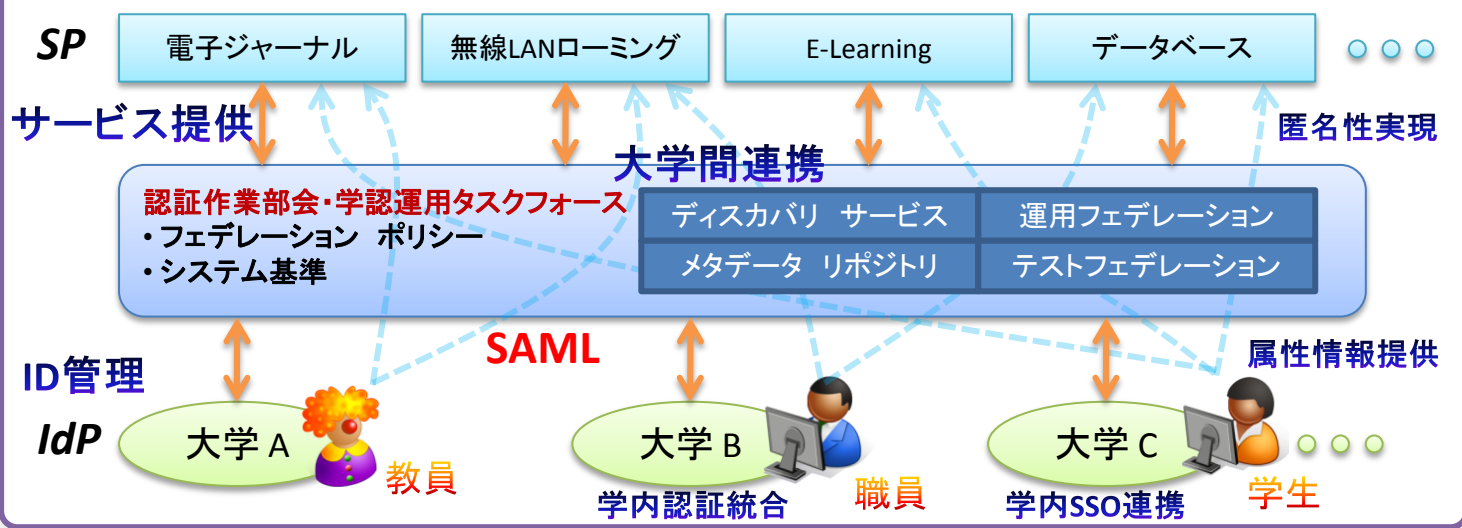
<http://www.slideshare.net/bkkissel/openid-foundation-update-at-rsa-conference> に加筆



学術認証フェデレーション「学認」

GakuNin

シングルサインオン技術に基づく学術活動支援環境



フェデレーションの構築は世界各国で進行中!



電子ジャーナル



論文検索



無線LAN連携



大容量ファイル転送



TV会議



学生向け開発環境無償提供



個人認証で大学外からもアクセス可能に!



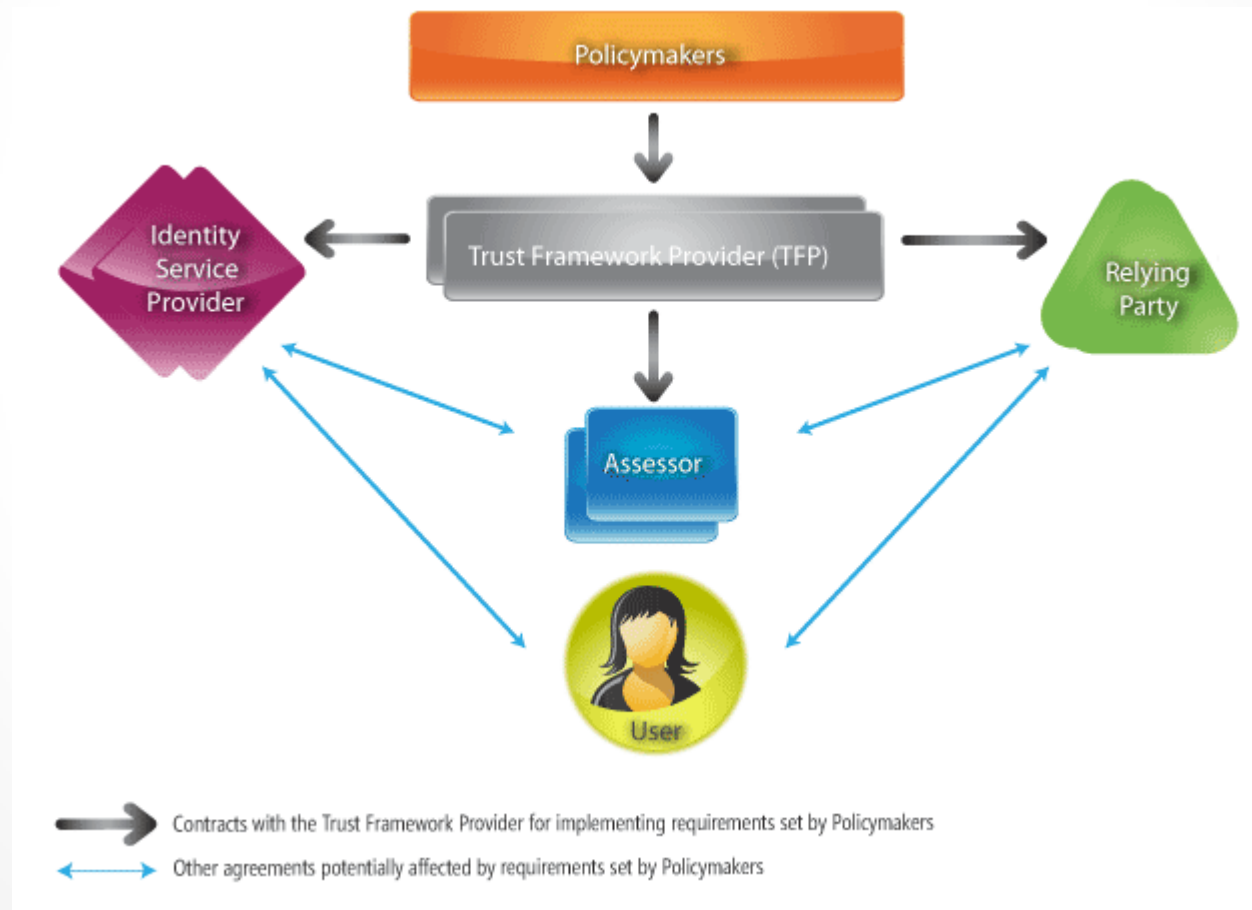
シームレスなサービス連携へ!

トラスト

- オンライン・トラスト
 - 信頼できるコミュニティを定める
 - その中では、以下について了解する
 - 相手から送られてくるデータを信頼する
 - 相手に送るデータが信頼される→その内側では、参加者の行動が十分安心できるとお互いに了解できる
 - 内側ではより柔軟なトランザクションが許される
 - 「誰が保証するか」ではなく、「皆が了解する枠組を作る」ことが本質的 (Identityがorganizationalかsocialかとを超えた話)
- オンライン・トランザクションの今以上の普及のためのキーコンセプトのひとつ
 - 今以上に便利なサービスが提供されるかも

トラストのプレイヤーたち

- <http://openididentityexchange.org/what-is-a-trust-framework>



トラストフレームワークの 作り方

- ポリシーの合意
 - トラストフレームワークのガバナンス
 - トラストフレームワークの技術的な保証
 - Identity ProviderがリリースするIdentity情報についてどこまで保証しているか？
=Identity Management が本質的に重要
 - プライバシー等、社会的な要請のクリア
- 運用が適切におこなわれていることの保証(人に納得してもらうためのスキーム)
 - Assessorによる評価のスキーム
 - 運用に対する監査のスキーム



IdPの保証レベル(LoA)への対応

- NIH (米国立衛生研究所)のPubMed等の医学・生物学系DBサービスの利用に、IdPにLoA Level 1が必要
- LoAにおける4つのレベル
 - Level1: Webサイトにおけるオンラインディスカッション等
 - Level2: 社会保障サービスに関する住所変更手続き等
 - Level3: 特許弁理士による特許手続、大規模な政府調達等
 - Level4: 司法当局による犯罪歴DBアクセス、規制医薬品の調剤等



- 学認が、IdPのLevel 1準拠を認証するTFP (トラストフレームワーク プロバイダ)となって、接続を実現
 - まもなく、PubMedとの接続が完了(Leve 1対応)
 - 2012年度以降、**Level 2**への対応で、**研究費申請(e-Rad)**、**高性能コンピューティング基盤(HPCI)**等との連携に期待
- 日本の学術向けTrust Framework Providerを目指す



OpenIDとの連携

- 民間デファクトであるOpenID対応のサービスが、学認IdPで認証して利用できるようになれば、**学認(大学)向けのサービス**がさらに広がる
 - 学認にてプロトコルゲートウェイによるOpenID Connect対応



- ▶ 民間 (OpenID OP) から学認対応SP へのアクセスが可能になれば、**産学協同研究の情報基盤**としての活用や**保護者向けサービス**へも展開できる



最後に。。。

じつは今朝、
こんなリリースが！

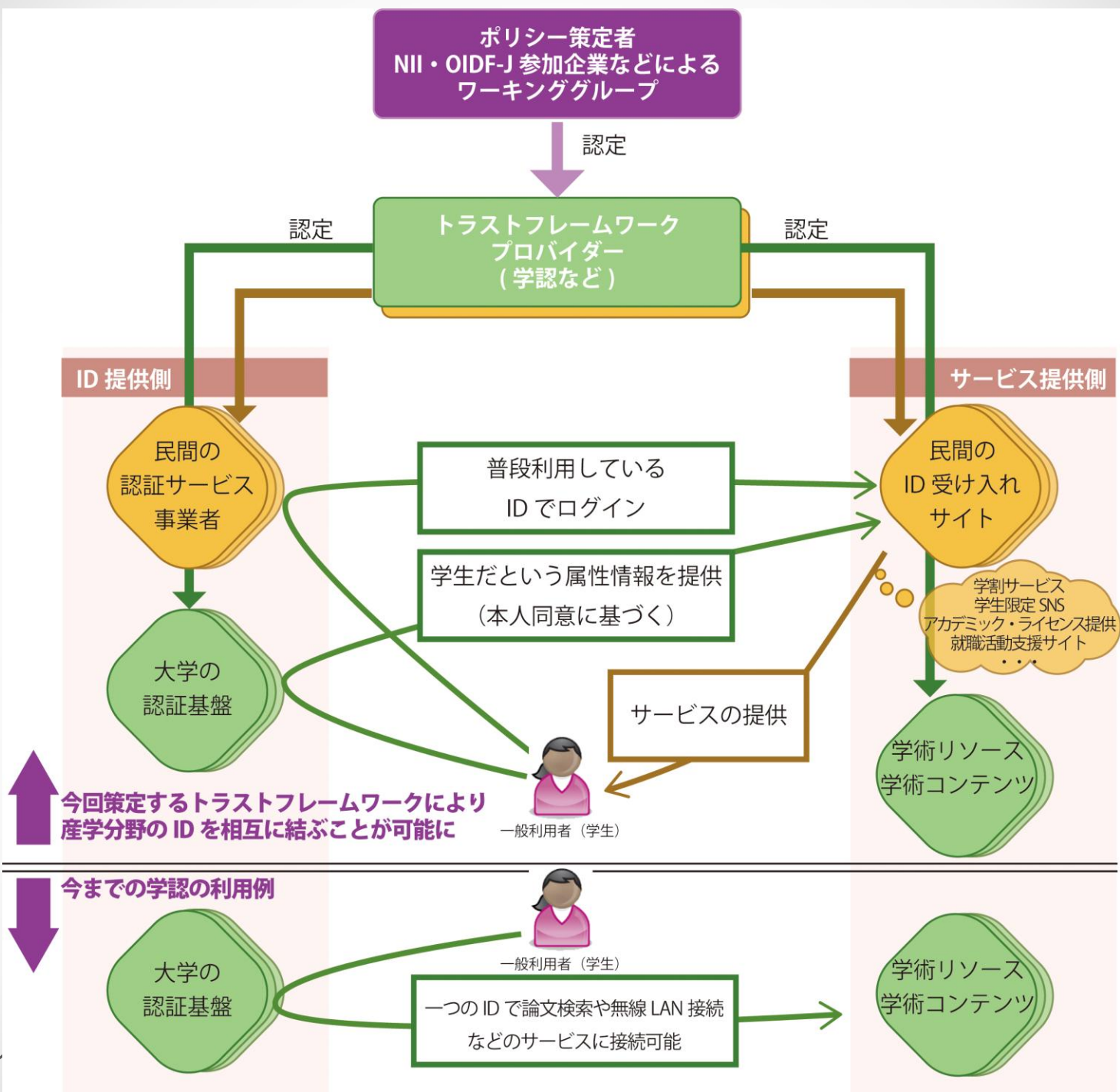
産学の ID をつなぐ世界初のトラストフレームワークの研究に着手 ～利用者情報の安全な流通を目指し、学生向けサービスの提供を支援～

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所
一般社団法人 OpenID ファウンデーション・ジャパン

国立情報学研究所（所長：坂内正夫、以下 NII）は、一般社団法人 OpenID ファウンデーション・ジャパン（代表理事：八木晃二、以下 OI DF-J）と共同して、「学術認証フェデレーション※¹」（以下「学認」）と民間企業が提供するサービスをつなぐ「トラストフレームワーク※²」に関する研究を開始します。

本研究は、オンライン ID に信頼を付与し、さまざまなサービスで活用可能なエコシステムの実現を目指しています。産学分野の ID を相互に結ぶオープンなトラストフレームワークの策定は、世界初の試みとなります。

このトラストフレームワークの実現によって、これまでそれぞれ異なるルールや技術を用いて構築してきたサービスがシームレスにつながり、組織や業界、国境を超えた柔軟な認証が可能になるとともにさまざまな利用者情報を安全にやり取りすることが可能になります。ID 提供側とサービス提供側との信頼関係の構築が容易になることで、従来は不可能だった、より利便性の高いオンライン・サービスの創出が期待されます。



緊急告知

ホントに最後です(_o_)

5月17日(木) 開催決定！！ 信頼フレームワークセミナー



The screenshot shows a web browser window with the URL www.openid.or.jp/modules/news/detail.... The page features the OpenID Japan logo and a navigation menu with items like "OIDF-Jのご紹介", "代表理事のご挨拶", "ニュース&トピックス", "ブログ", "会員組織について", "会員一覧", "公開資料", and "お問い合わせ". A blue hand icon points to the "ニュース&トピックス" link. The main content area displays a news article titled "最新ニュース&トピックス - 「信頼フレームワーク」セミナー Vol.2 ～学生IDを活用しオンライン学割サービスを提供しよう～ を実施致します。". Below the article is a "カテゴリトップ » news" link. On the right side, there is a "ブログ カレンダー" section showing a calendar for March 2012, with the 5th highlighted.

OIDF-Jのご紹介 代表理事のご挨拶 **ニュース&トピックス** ブログ 会員組織について 会員一覧 公開資料 お問い合わせ

最新配信 | [RSS](#) | [RDF](#) | [ATOM](#)

最新ニュース&トピックス - 「信頼フレームワーク」セミナー Vol.2 ～学生IDを活用しオンライン学割サービスを提供しよう～ を実施致します。

カテゴリトップ » [news](#)

「信頼フレームワーク」セミナー Vol.2 ～学生IDを活用しオンライン学割サービスを提供しよう～ を実施致します。

ブログ カレンダー

« « 2012 3月 » »

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31